

# 東桜学館互見授業シート

＜実施日＞令和7年〇月〇日(〇) 〇時間 科目 高校日本史 2年〇組 教諭 〇〇〇〇

＜研究主題＞ より効果的に探究的な学びを深める授業をめざして

(重点項目) ①対話による学びを深める授業 ②協働的な学びと振り返りの場の設定

| 学びの活動              | 1 単純な活動をする                                                                                                                                            | 2 要点を取り出す(端的に表現する、確認する)条件を満たす                                                                     | 3 比較検討する表にする、まとめる説明する(説得する) | 4 変容にきづく視点を考える応用する    |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 資料(図、表、グラフ、文章)との関係 | ・資料を使わない<br>・教員によってかみ砕かれた素材によって学ぶ                                                                                                                     | ・資料を読み取る                                                                                          | ・資料を作る<br>・複数の資料をまとめる       | ・学んだことを応用する           |
| 狙いとする生徒の具体的姿       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの撰録令において「洪武銭」の取り扱いが異なることを読み取ることができる。</li> <li>・二つの撰録令の内容を読み取り、「権力の分立」という中世社会の特色と関連付けて説明することができる。</li> </ul> |                                                                                                   |                             |                       |
| 文章を書く              | ・自由に感想文を書く                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課された条件を満たしながら文を書く</li> <li>・資料の要約や現象の説明をする文を書く</li> </ul> | ・主張や要点を表にまとめ、分析・説明する文を書く    | ・まとめを受けて、さらに発展させた文を書く |
| 狙いとする生徒の具体的姿       | ・資料の根拠となる部分を指摘しながら、説明をまとめることができる。                                                                                                                     |                                                                                                   |                             |                       |

＜内 容＞ 単元「中世の日本と世界」、小単元「室町時代の社会の変化」

| 単元の流れ                  | おもな学習活動                                                                                                                                                                 | 指導上の留意点                               | 評価                                                                                               |        |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 導入・展開 1<br>(1 時間)      | ・惣村の成立にみられる、民衆の成長について理解する<br>・惣掟から、惣村の排他性について読みとらせる。                                                                                                                    | ・中世社会の特色「自力救済」「権力の分立」との関連に触れる。        | 知<br>技                                                                                           |        |
| 展開 2<br>(1～2 時間)       | ・各種の一揆が成立する背景と、それぞれの一揆の目的について理解する<br>・資料の書き手が、一揆に対してどのような評価を下しているか読み取る。                                                                                                 | ・中世社会の特色「自力救済」や「神仏へのあつい信仰」との関連に触れる。   | 技<br>思・判                                                                                         |        |
| 展開 3<br>(1～2 時間)<br>本時 | 産業の発展は、社会をどのように変化させていったのだろうか？<br><br>室町時代の産業の発展と社会の変化の関連について理解する。<br><br>1 農業の発展<br><br>2 手工業の発展<br><br>3 商業の発展<br>・二つの資料を、既習の知識を活用して読み取る。<br>・資料の表現を説明の根拠として挙げながら説明する。 |                                       | ・既習事項（鎌倉時代）との比較、変容を意識させる。<br><br>・特産品が成立する地理的条件や社会的条件にも簡潔に触れる。<br><br>・中世社会の特色「権力の分立」との関連に着目させる。 | 技<br>表 |
| 展開 4<br>(2 時間)         | 室町文化の特色について、社会の変化と関連付けて理解する。                                                                                                                                            | ・「北山文化」「東山文化」という区分が絶対的なものではないことを補足する。 | 知                                                                                                |        |

問 3 下線部⑥に関連して、次の史料1は1500年に室町幕府が京都で発布した撰銭令である。また、後の史料2は1485年に大内氏が山口で発布し、1500年においても有効だった撰銭令である。史料1・2によって分かることに関して述べた後の文a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 14

史料1

商売人等による撰銭の事について

近年、自分勝手に撰銭を行っていることは、まったくもってけしからんことである。日本で偽造された私鑄銭については、厳密にこれを選別して排除しなさい。永楽銭・洪武銭・宣徳銭は取引に使用しなさい。

（『建武以来追加』大意）

史料2

利息付きの貸借や売買の際の銭の事について

永楽銭・宣徳銭については選別して排除してはならない。さかい銭(注1)・洪武銭・うちひらめ(注2)の三種類のみを選んで排除しなさい。

（『大内氏掟書』大意）

(注1) さかい銭：私鑄銭の一種。

(注2) うちひらめ：私鑄銭の一種。

- a 使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していることから、大内氏は室町幕府の規制に従っていたことが分かる。
- b 使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していないことから、大内氏は室町幕府の規制に従ってはいなかったことが分かる。
- c 永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえ、市中での需要が高かったことが分かる。
- d 永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえず、市中での需要が低かったことが分かる。

正答はb・dの組み合わせだが、正答率は約10%。多くはb・cの組み合わせで不正解となっている。

## 東桜学館互見授業シート

&lt;&lt;実施日&gt;&gt;令和〇年〇月〇日(〇) 〇時間目 &lt;&lt;内 容&gt;&gt;中学社会(歴史)1年〇組教諭 〇〇〇〇

&lt;&lt;研究主題&gt;&gt; より効果的に探究的な学びを深める授業をめざして

(重点項目) ①対話による学びを深める授業 ②協働的な学びと振り返りの場の設定

◎授業者は、どの活動のどの段階を狙いにするか、下の表に丸をしてください(複数記載可)

◎実技科目も下表「学びの活動」欄のどれかに丸をしてください

◎下の表を参考にしつつ、作り変えて用いても構いません

◎加えて、授業者は、丸をした段階について、さらに具体的にどういった生徒の姿・発言・状態を狙いとするか、自由記述欄に書き込んでください

◎授業者によって書き込み済みの互見授業シートを参観者に配布して、具体的な狙いを共有しつつ、授業研究を行ってください

| 学びの活動              | 1 単純な活動をする                                                        | 2 要点を取り出す(端的に表現する、確認する)<br>条件を満たす                                                    | 3 比較検討する<br>表にする、まとめる<br>説明する(説得する)                                       | 4 変容に気づく<br>視点を変える<br>応用する                                                             |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 資料(図、表、グラフ、文章)との関係 | ・資料を使わない<br>・教員によってかみ砕かれた素材によって学ぶ                                 | 資料を読み取る                                                                              | ・資料を作る<br>・複数の資料をまとめる                                                     | ・学んだことを応用する                                                                            |
| 狙いとする生徒の具体的姿       | 資料から、農業や商業の発展の要素をつかむことができる                                        |                                                                                      |                                                                           |                                                                                        |
| 文章を書く              | ・自由に感想文を書く                                                        | ・課された条件を満たしながら文を書く<br>資料の要約や現象の説明をする文を書く                                             | ・主張や要点を表にまとめ、分析・説明する文を書く                                                  | ・まとめを受けて、さらに発展させた文を書く                                                                  |
| 狙いとする生徒の具体的姿       | 農業や商業の発展と文化の発展の関係についてまとめることができる                                   |                                                                                      |                                                                           |                                                                                        |
| 話し合う               | ・感想・意見を披露し合う<br>・問題のより良い解決について話し合う                                | ・相手の自分の感想・意見の共通点と相違点を確認する<br>・複数の解決の道(長短)を確認する                                       | ・共通点と相違点を表にまとめ、説明する(さらに話し合う)<br>・より良い解決を選び、その理由を説明する                      | ・まとめを受けて、さらに発展させた意見を持つ<br>・まとめを受けて、発展的な問題を解決する                                         |
| 狙いとする生徒の具体的姿       |                                                                   |                                                                                      |                                                                           |                                                                                        |
| 読む                 | ・ただ読む<br>・登場人物の行動や発言の真意を考える<br>・どの主張に賛成か、立場を決める<br>・法令、契約、定義を参照する | ・表現の含意について考える<br>・段落分けの意味(文章の全体の構成)を考える<br>・主張ごとの特徴を確認する<br>・法令や契約、定義について、例を挙げながら考える | ・全体の流れを構成図にまとめて理解する<br>・複数の主張について、表にまとめる<br>・複数の法令や契約、定義について比較検討する、表にまとめる | ・まとめを受けて、当初の理解からの変化を説明する<br>・まとめを受けて、当初の立場からの変化を説明する<br>・まとめを受けて、法令、契約、定義について改善点を説明できる |
| 狙いとする生徒の具体的姿       |                                                                   |                                                                                      |                                                                           |                                                                                        |
| 問題を解く              | ・ただ解く                                                             | ・条件を満たして解く                                                                           | ・出題意図について考える                                                              | ・作問する<br>・採点する                                                                         |
| 狙いとする生徒の具体的姿       |                                                                   |                                                                                      |                                                                           |                                                                                        |